



## 新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和元年 11 月 14 日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和元年 12 月 10 日（火）からオーダ開始しました。

## 「麻薬・覚せい剤原料の薬袋」 変更について

12 月 2 日から、麻薬・覚せい剤原料の薬袋が変更になりました。ご活用ください。

＜主な変更点＞

- ・表紙：「服用記録」を追加
- ・裏面：透明（中身を判別しやすくするため）

**麻薬用**

**覚せい剤原料用**

## 低血糖に対して使用するブドウ糖の変更について

低血糖時に使用するブドウ糖が変更になります（第 212 回 病院運営審議会報告済）。

従来のブドウ糖(粉末：10 g/包 固形：2.8 g × 2 粒/包)が無くなり次第、市販のブドウ糖顆粒剤だけの取り扱いになります。固形はなくなります。

各部署からの請求方法は変更ありません。従来通り薬剤部に必要本数を請求してください。

## 包装変更等のお知らせ

◎イデルビオン静注用 250、500、1000、2000（一般名：アルブトレペノナコグ アルファ（遺伝子組換え））＜血液凝固第 IX 因子アルブミン融合タンパク質製剤＞※臨時採用医薬品

静注セットの溶解器変更：CSL ペーリングトランスファーセット→スリートック®通気孔タイプ

## 麻薬免許証の期限切れにご注意ください

麻薬免許証の有効期限は、取得の日から翌々年の 12 月 31 日までです。

来年は「第 18ー」、「第 19ー」、「第 20ー」以外はすべて無効になります。今一度ご確認ください。

## 効能・効果、用法・用量の追加・変更のお知らせ

### ◎アブラキサン点滴静注用100 mg(一般名:パクリタキセル)＜抗悪性腫瘍剤(タキソ環類)＞

【用法・用量】乳癌 (E法)

アテゾリズマブ (遺伝子組換え) との併用において、成人にはパクリタキセルとして、1日1回 100 mg/m<sup>2</sup> (体表面積) を30分かけて点滴静注し、少なくとも6日間休薬する。週1回投与を3週間連続し、4週目は休薬する。これを1コースとして、投与を繰り返す。

### ◎エムプリシティ点滴静注用300 mg、400 mg(一般名:エロツズマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(ヒト化抗ヒトSLAMF7モノクローナル抗体)＞※臨時採用医薬品

【用法・用量】〈ポマリドミド及びデキサメタゾン併用〉

成人にはエロツズマブ (遺伝子組換え) として、28日間を1サイクルとし、最初の2サイクルは1回10 mg/kgを1週間間隔で4回 (1, 8, 15, 22日目), 3サイクル以降は1回20 mg/kgを4週間間隔 (1日目) で点滴静注する。

### ◎カイプロリス点滴静注用10 mg、40 mg(一般名:カルフィルゾミブ)

＜抗悪性腫瘍剤(プロテアソーム阻害剤)＞※臨時採用医薬品

【用法・用量】〈週1回投与の場合〉

成人には1日1回、本剤を1、8及び15日目に点滴静注し、13日間休薬する。この28日間を1サイクルとし、投与を繰り返す。本剤の投与量はカルフィルゾミブとして、1サイクル目の1日目のみ 20 mg/m<sup>2</sup> (体表面積)、それ以降は70 mg/m<sup>2</sup> (体表面積) とし、30分かけて点滴静注する。

### ◎ソリリス点滴静注300 mg(一般名:エクリズマブ(遺伝子組換え))

＜生物学的製剤(抗補体(C5)モノクローナル抗体製剤)＞※臨時採用医薬品

【効能・効果】視神経脊髄炎スペクトラム障害 (視神経脊髄炎を含む) の再発予防

【用法・用量】成人には、エクリズマブ (遺伝子組換え) として、1回900 mgから投与を開始する。初回投与後、週1回の間隔で初回投与を含め合計4回点滴静注し、その1週間後 (初回投与から4週間後) から1回1200 mgを2週に1回の間隔で点滴静注する。

### ◎テセントリク点滴静注1200 mg(一般名:アテゾリズマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(抗PD-L1ヒト化モノクローナル抗体)＞

【用法・用量】〈化学療法未治療の扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌患者の場合〉

他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはアテゾリズマブ (遺伝子組換え) として1回1200 mgを60分かけて3週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。

### ◎トルツ皮下注80 mgオートインジェクター(一般名:イキシセキズマブ(遺伝子組換え))

＜乾癬治療剤(ヒト化抗ヒトIL-17Aモノクローナル抗体)＞

【効能・効果】強直性脊椎炎

【用法・用量】成人にはイキシセキズマブ (遺伝子組換え) として1回80 mgを4週間隔で皮下投与する。

### ◎ベポタスチンベシル酸塩OD錠10 mg「タナベ」(一般名:ベポタスチンベシル酸塩)

＜アレルギー性疾患治療剤(選択的ヒスタミンH1受容体拮抗剤)＞

【効能・効果】〈小児〉アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒

【用法・用量】〈小児〉7歳以上の小児にはベポタスチンベシル酸塩として1回10 mgを1日2回経口投与する。

## 「ヘプタボックス-II水性懸濁注シリンジ0.25 mL」製造停止のお知らせ

B型肝炎ワクチン「ヘプタボックス-II水性懸濁注シリンジ0.25 mL」において、原液製造工程において所定の規格を満たせない事象が発生し、製造停止となりました。その後、製造再開しましたが、日本国内で供給するにあたって、薬事手続きが必要になるため、日本国内への供給再開は2020年半ば以降になる見込みとなっております。

そのため、代替医薬品として、「ビームゲン注0.5 mL」が採用されました。

「ヘプタボックス-II水性懸濁注シリンジ0.25 mL」の在庫がなくなり次第、「ビームゲン注0.5 mL」に切り替える予定となっております。

## 採用医薬品の区分新設について

令和元年度第4回薬事委員会において、「山口大学医学部附属病院における医薬品の採用・購入・削除等に関わる取扱要領」の改訂が承認され、採用医薬品の区分に「再生医療等製品」と「臨床研究用医薬品」が追加となりました。これに伴い申請様式も追加・変更となっております。

詳細は薬剤部 HP⇒「山口大学病院関係者向け」をご覧ください。

薬剤部 HP の URL : <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~yakuzai/index.html>

※薬剤部 HP は電子カルテ端末トップページからもアクセスできます。

## 適正使用のお願い

### ◎タミフルカプセル75、ドライシロップ3%（一般名：オセルタミビルリン酸塩）＜抗インフルエンザウイルス剤＞

#### 異常行動による転落等の事故を予防するためのお願い

インフルエンザの患者さんでは、抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無や種類にかかわらず、異常行動に関連すると考えられる転落死等が報告されています。

＜異常行動＞

- ① 就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多い（女性の報告もある）
- ② 発熱から少なくとも2日以内に発現することが多い  
（異常行動の例）
  - ・突然立ち上がって部屋から出ようとする
  - ・興奮して窓を開けてベランダに出て、飛び降りようとする
  - ・人に襲われる感覚を覚え、外に走り出す
  - ・突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする
  - ・自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない
  - ・変なことを言いだし、泣きながら部屋の中を動き回る など

＜事故を防止するために＞

発熱から少なくとも2日間は、就寝中も含め、特に小児・未成年者が容易に住居外へ飛び出さないために、例えば、以下のような具体的な対策を講じるよう、保護者の方に説明してください。

- ・玄関や全ての部屋の窓を確実に施錠する（内鍵、チェーンロック、補助錠がある場合は、その活用を含む）
- ・ベランダに面していない部屋で寝かせる
- ・窓に格子のある部屋がある場合は、その部屋で寝かせる
- ・一戸建てにお住いの場合は、出来る限り1階で寝かせる

### ◎アブラキサン点滴静注用100 mg（一般名：パクリタキセル）＜抗悪性腫瘍剤（タキソ環類）＞

#### 間質性肺疾患に関するお願い

間質性肺疾患は本剤において知られた副作用ですが、死亡に至る症例も報告されており、十分な注意が必要です。咳嗽、息切れ・呼吸困難、発熱等の間質性肺疾患が疑われる症状を認めた場合には、本剤の投与を中止し、画像検査、呼吸機能検査、血液検査等を実施の上、必要に応じてステロイド剤の投与等の適切な処置を行ってください。

## 院内副作用報告

当院での使用患者において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
キイトルーダ	小腸イレウス
	間質性肺炎
	胃粘膜障害

上記薬剤を使用する際には、副作用の発現にご注意ください。

## 「アゾルガ配合懸濁性点眼液」オーダー一時停止のお知らせ

緑内障・高眼圧症治療剤「アゾルガ配合懸濁性点眼液」において、原薬製造の海外工場における医薬品製造に関する更新手続きが完了せず、出荷が滞っていることから、国内で当該製品が欠品することとなりました。これに伴い 11 月 22 日から処方オーダーを一時停止しました。

なお、「アゾルガ配合懸濁性点眼液」は配合剤であり、各有効成分を含有している当院採用の代替薬は以下の薬剤となっております。

### 【当院採用の代替薬の組み合わせ】

- ・エイゾプト懸濁性点眼液 1%
- ・チモプトール XE 点眼液 0.5%

## 「ポンタールシロップ」オーダー一時停止のお知らせ

解熱・鎮痛剤「ポンタールシロップ 3.25%」において、本年 8 月より粒子径規格不適合を原因とする出荷調整が行われてきましたが、未だその原因の究明に至っておらず、出荷可能となるまでに更なる時間を要することから、当該製品が欠品することとなりました。これに伴い 12 月 3 日から処方オーダーを一時停止しました。

なお、「ポンタールシロップ 3.25%」の当院採用の代替薬は以下の薬剤となっております。

### 【当院採用の代替薬】

- ・カロナール細粒 20%

## 「ネリゾナユニバーサルクリーム」オーダー一時停止のお知らせ

外用合成副腎皮質ホルモン剤「ネリゾナユニバーサルクリーム 0.1%」において、海外製造所からの出荷が遅延していることから、国内で当該製品が欠品することとなりました。これに伴い 12 月 3 日から処方オーダーを一時停止しました。

なお、「ネリゾナユニバーサルクリーム 0.1%」の当院採用の代替薬は以下の薬剤となっております。

### 【当院採用の代替薬】

＜ステロイド外用薬（Ⅱ群・Very strong）＞

- ・アンテベート軟膏 0.05%
- ・マイザー軟膏 0.05%

## オーダー名変更のお知らせ

変更前		変更後
フェンタニル注射液 0.1 mg 「ヤンセン」	→	フェンタニル注射液 0.1 mg 「テルモ」
フェンタニル注射液 0.25 mg 「ヤンセン」	→	フェンタニル注射液 0.25 mg 「テルモ」

※在庫がなくなり次第、順次変更予定

## 臨時採用医薬品のオーダー開始のお知らせ

オーダー開始日	臨時採用医薬品
2019. 12. 10	☆オクソラレンローション 1 %,

## 販売中止のお知らせ

◎ミルナシبران塩酸塩錠 15 mg、25 mg「AFP」(一般名:ミルナシبران塩酸塩)＜抗うつ剤((SNRI))＞

販売終了時期：(15 mg)2019 年 12 月、(25 mg)2020 年 1 月 経過措置満了日：2021 年 3 月末

◎注射用 GRF 住友 100(一般名:ソマトレリン酢酸塩)＜下垂体成長ホルモン分泌機能検査薬＞

製造販売中止：2020 年 3 月

## 医薬品・医療機器等安全性情報 No. 368

### ★重篤副作用疾患別対応マニュアル改定事業について(その3)

厚生労働省では、平成 17 年度から平成 22 年度にかけて「重篤副作用疾患別対応マニュアル」を作成しており、平成 28 年度からは、最新の知見等を踏まえた改定を進めているところです。

本稿では、平成 30 年度の改訂作業の進捗状況について紹介します。

### ★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂(追加)したので内容を紹介する。

#### ◎タケキャブ錠10mg、20mg(商品名:ボノプラザンフマル酸塩)＜消化性潰瘍用剤(PPI)＞

【重大な副作用】汎血球減少、無顆粒球症、白血球減少、血小板減少があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※血小板減少関連症例 2例(うち死亡0例)

※無顆粒球症、白血球減少関連症例 4例(うち死亡0例)

※汎血球減少 2例(うち死亡0例)

(平成28年4月～令和元年8月)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)  
又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)から確認可能。

☆Drug Safety Update No. 284 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名(薬品名)	主な改訂内容
メチルフェニデート塩酸塩 (徐放錠) (コンサータ錠)	※警告：下線部一部改訂 本剤の投与は、注意欠陥／多動性障害(AD/HD)の診断、治療に精通し、 <u>かつ薬物依存を含む本剤のリスク等について十分に管理できる、管理システムに登録された医師のいる医療機関及び薬剤師のいる薬局において、登録患者に対してのみ行うこと。</u> また、 <u>それら薬局においては、調剤前に当該医師・医療機関・患者が管理システムに登録されていることを確認した上で調剤を行うこと。</u> ※警告：追記 本剤の投与にあたっては、患者(小児の場合には患者又は代諾者)に対して、本剤の有効性、安全性、及び目的以外への使用や他人へ譲渡しないことを文書によって説明し、文書で同意を取得すること。
ボノプラザンフマル酸塩 (タケキャブ錠)	※重大な副作用：追記 医薬品・医療機器等安全性情報 No. 368 参照
D-ソルビトール(泌尿器科用灌流液) (ウロマチックS 泌尿器科用灌流液)	※禁忌：追記 遺伝性果糖不耐症の患者
ペリムマブ(遺伝子組換え) (ペリルス点静注用・皮下注オートインジェクター)	※重要な基本的注意：追記 うつ病、自殺念慮及び自殺企図があらわれることがあるので、これらの事象が発現する可能性について患者及びその家族等に十分説明し、不眠、不安等の精神状態の変化があらわれた場合には速やかに担当医に連絡するよう指導すること。 ※重要な副作用：うつ病、自殺念慮、自殺企図 うつ病、自殺念慮及び自殺企図があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には投与を中止するなど、適切な処置を行うこと。

※DSU について：最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)で確認可能です。

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計8品目)

2019年12月10日オーダ開始予定

採用 区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	アミオダロン塩酸塩静注「TE」 212	注	150mg	劇 ハイスク	1,195.0	トーアイイー	Amiodarone Hydrochloride 不整脈治療剤(Kチャネル遮断薬) ★Vaughan-Williams分類の第Ⅲ群に属する不整脈治療薬 ★電氣的除細動で改善できない難治性心室細動に対する第一選択薬である ★室温保存の製剤であるため、院外持ち出し(ドクターカーやドクターヘリ)で使用する ★有効期間:2年→3年に延長 【発売:2018.6.15】
1	イラス配合経腸用 325	液	187.5mL	-	1.57/mL	大塚製薬	たん白アミノ酸製剤 ★高濃度(1.6kcal/mL)の半消化態経腸栄養剤(経口・経管両用) ★従来薬に比べ、新規でヨウ素やクロム・モリブデンといった微量元素が追加になった 他、カルニチンやコリンといった栄養素も追加となっている ★1ℓあたり摂取できるエネルギー量、タンパク質も増えたため、多くの量が摂取できない患者にとって効率よく栄養を補給することが出来る ※緊急購入歴あり 【発売:2019.6.6】
1	エプクルーサ配合 625	錠	ソホスブビル 400mg ヘルパタスビル 100mg	-	61,268.5	キリアド・サイエンス	Sofosbuvir,Velpatasvir 抗ウイルス剤(C型肝炎治療薬) ★国内で初めてC型非代償性肝硬変に対し使用可能な薬剤 ★C型非代償性肝硬変例(12週間投与)での国内第3相臨床試験におけるウイルス学的持続者効率92.2%であり、高率にウイルス排除が期待できる ★リパビリンと併用(24週投与)により、DAA既治療例でも有効性が示されている ※緊急購入歴あり 【発売:2019.2.26】
1	グルヘス配合OD 396	錠	ミチグリニド 10mg ホクグリホース 0.2mg	ハイスク	46.2	キッセイ薬品工業	Mitiglinide Calcium Hydrate,Voglibose 糖尿病治療薬(グリニド類/ $\alpha$ -GI) ★水なしで服用可能な口腔内崩壊錠 ★通常錠と同薬価 【発売:2019.6.14】
1	ゾルトファイ配合注フレックス タッチ 396	注	インスリン デグ ルデク 300単位 リラグルト 10.8 mg	劇 ハイスク	5,359.0	ノボ・ノルディスク ファーマ	Insulin Degludec (Genetical Recombination),Liraglutide (Genetical Recombination) 糖尿病治療薬(インスリン/GLP-1アナログ) ★固定比率で配合された2つの有効成分:インスリン デグ ルデク とリラグルト を1日1回の皮下注射で投与することが可能である ★Basalインスリン製剤と同様の用量調整法を用いることで、患者の状態に合わせた用量調節が可能である ★リラグルト 単剤による治療と比較して用量漸増が緩徐であることから、胃腸障害の副作用の発現頻度を低減する 【発売:2019.9.26】
1	トラスツマブマブBS点滴静注用「NK」 429	注	60mg  150mg	ハイスク	13,427.0  30,214.0	日本化薬	Trastuzumab(Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤(抗HER2ヒト化モノクローナル抗体) ★先行バイオ医薬品であるハーセプチンのハイオンミラー ★本剤は、基礎試験及び、臨床比較試験により、先行バイオ医薬品との同等性・同質性が確認されており、臨床においても先行バイオ医薬品と同等の安全性及び有効性が想定される ★薬価は先行バイオ医薬品の70%であり、患者負担軽減及び、病院薬剤購入費削減に貢献する ・ハーセプチン注射用60mg:19034 円 ・ハーセプチン注射用150mg:44215 円 【発売:2018.8.20】
1	ロナセンテープ 117	外用	40mg	劇	511.2	大日本住友製薬	Blonanserin 非定型抗精神病薬(SDA:セロトニン・ドーパミン拮抗薬) ★世界初の経皮吸収型抗精神病剤 ★経皮吸収にて食事の影響を受けず、定常状態では1日1回貼付で24時間安定した血中濃度を維持し、副作用軽減につながる ★小腸及び肝臓での初回通過効果を受けないことから、消化管におけるCYP3A4の阻害や誘導作用を持つ薬剤等との併用による相互作用の影響を受けにくい ★嚥下障害や消化器系の器質的障害や、精神症状による内服拒否により、錠剤や散剤を服用できない患者にも投与が可能となり、アドヒアランス向上が期待される 【発売:2019.9.10】

②救急医薬品（合計2品目）

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区分	薬 価	会社名	成 分 ・ 薬 効
2	シ <sup>®</sup> プロキシサン （後発医薬品） 624	錠	100mg	－		納入価等を検討後に決定	Ciprofloxacin Hydrochloride Hydrate 広範囲経口抗菌剤(ニューキノロン系抗菌薬) ★髄膜炎菌曝露者の予防内服に使用 ★当院で年1回程度髄膜炎菌患者の入院があり、培養検査で髄膜炎菌陽性になったのち濃厚曝露した者は抗菌薬の予防内服が推奨されている ★予防内服を行うことでほぼ発症は予防できるため、予防内服の重要性は高い ★従来、当院ではリファンピンを使用していたが、通常使用量の2.67倍量を使用することになり、副作用の頻度が添付文書より増加することが予想される ★リファンピンでは、併用禁忌や併用注意薬が多数あり、使用できない職員が出る可能性がある ★予防内服の用量はシ <sup>®</sup> プロキシサン錠(100)1回5錠
2	ツルバ <sup>®</sup> ダ <sup>®</sup> 配合 625	錠	エムトリシタ <sup>®</sup> ビ <sup>®</sup> ン 200mg テノホビル シ <sup>®</sup> ツ <sup>®</sup> プロキシル <sup>®</sup> フル 酸塩300mg	劇	3,917.8	キ <sup>®</sup> リア <sup>®</sup> ト <sup>®</sup> ・サイ <sup>®</sup> エン シス <sup>®</sup>	Emtricitabine,Tenofovir Disoproxil Fumarate 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) ★本院のHIV陽性患者の針刺し事故時におけるマニュアルでは、テビ <sup>®</sup> ケイ錠、エシ <sup>®</sup> ュラント錠を予防内服するようにになっている ★妊婦の場合、アメリカ合衆国保険社会福祉省がガイドラインではアイセントレス、ツルバ <sup>®</sup> ダ <sup>®</sup> となっており、妊婦の針刺し時の予防内服として必要である 【発売:2009.9.25】

⑤臨時採用医薬品（合計2品目）

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区分	薬 価	会社名	成 分 ・ 薬 効
5	サイ <sup>®</sup> メル <sup>®</sup> 421	注	50mg	劇 ハイリスク	10,553.0	ニ <sup>®</sup> プロ <sup>®</sup> ES <sup>®</sup> フ <sup>®</sup> アー <sup>®</sup> マ <sup>®</sup>	Ranimustine 抗悪性腫瘍剤(ニトロソウレア類) ★グルコース骨格を有するニトロソウレア系抗悪性腫瘍剤 ★DNAのアルキル化を主作用とする抗腫瘍効果がある ★脳腫瘍の中でも悪性度の高い膠芽腫に効果が期待できる ★骨髄腫、悪性リンパ腫、慢性骨髄性白血病、真性多血症、本態性血小板増多症に対して寛解導入効果が期待できる ※緊急購入歴あり 【発売:1987.7.7】
5	サブ <sup>®</sup> リ <sup>®</sup> ル 113	散	500mg	劇	1,514.5	アル <sup>®</sup> フレ <sup>®</sup> ツ <sup>®</sup> サ <sup>®</sup> フ <sup>®</sup> アー <sup>®</sup> マ <sup>®</sup>	Vigabatrin 抗てんかん剤(GABA分解酵素阻害薬) ★点頭てんかんに対する適応を有する抗てんかん剤 ★脳内における抑制性神経伝達物質(GABA)の分解酵素GABA-Tを特異的に阻害することにより抗てんかん作用を発揮する ※緊急購入歴あり 【発売:2016.7.27】

⑥院外専用医薬品（合計6品目）

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区分	薬 価	会社名	成 分 ・ 薬 効
6	エト <sup>®</sup> ラ <sup>®</sup> ク「SW」 114	錠	200mg	劇	9.7	沢井製薬	Etodolac 非ステロイド <sup>®</sup> 性抗炎症剤(NSAIDs) ★スマイラ <sup>®</sup> フ錠100mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2002.7.5】
6	スマイラ <sup>®</sup> 399	錠	50mg	劇	1,749.4	アステラス製薬	Peficitinib Hydrobromide 抗リウマチ薬(ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤) ★JAK1、JAK2、JAK3 及びTYK2のいずれのJAKファミリーにも阻害活性を有する ★インターロイキン(IL)-2をはじめとする各種サイトカインのシグナル伝達を阻害し、炎症性サイトカインの産生を抑制する ★他剤と比較し、腎機能が低下している症例に対し、用量調整の必要がない 【発売:2019.7.10】
			100mg		3,396.1		
6	ソラン <sup>®</sup> ター <sup>®</sup> ル 114	錠	100mg	－	11.0	LTL <sup>®</sup> フ <sup>®</sup> アー <sup>®</sup> マ <sup>®</sup>	Tiaramide Hydrochloride 非ステロイド <sup>®</sup> 性抗炎症剤(塩基性NSAIDs) ★スマイラ <sup>®</sup> フ錠50mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:1975.1.1】
6	ノ <sup>®</sup> ボ <sup>®</sup> リン30R注フレックス <sup>®</sup> ベン 249	注	300単位	劇 ハイリスク	1,885.0	ノ <sup>®</sup> ボ <sup>®</sup> <sup>®</sup> ル <sup>®</sup> ディ <sup>®</sup> スク <sup>®</sup> フ <sup>®</sup> アー <sup>®</sup> マ <sup>®</sup>	Insulin Human (Genetical Recombination) 糖尿病治療薬(インスリン) ★ゾ <sup>®</sup> ルト <sup>®</sup> ファイ <sup>®</sup> 配合注フレックス <sup>®</sup> タッチ採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2003.7.4】
6	ルー <sup>®</sup> ラン <sup>®</sup> 117	錠	8mg	劇	29.7	大日本住友製薬	Perospirone Hydrochloride Hydrate 非定型抗精神病薬(SDA:セロトニン <sup>®</sup> ドーパミン拮抗薬) ★ロ <sup>®</sup> ナ <sup>®</sup> セン <sup>®</sup> テ <sup>®</sup> ーフ40mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2001.2.9】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計2品目)

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区 分	削 除 理 由
1	ヘグイントロン	注	100μg	劇	エブクルーサ配合錠採用の場合、削除
1	サイレース	注	2mg	劇	イノラス配合経腸用液採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。  
ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計12品目)

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区 分	削 除 理 由
1	アンカロン	注	150mg	劇 ハイリスク	アミオダロン塩酸塩静注150mg「TE」採用のため、削除(2019年12月10日に削除)
1	エトドラク「SW」	錠	200mg	劇	スマイラフ錠100mg採用のため、区分6へ移行(2019年12月10日に区分6へ移行)
1	ゲルベス配合	錠	-	劇 ハイリスク	ゲルベス配合OD錠採用のため、削除(2019年12月10日に削除)
6	ジフルカン	カプセル	100mg	-	オラビ錠口腔用50mg採用のため、削除(2019年12月10日に削除) ※後発品フルコナゾールcap100mg「サワイ」が常備医薬品として採用あり
1	ソランタール	錠	100mg	-	スマイラフ錠50mg採用のため、区分6へ移行(2019年12月10日に区分6へ移行)
1	ノボリン30R注フレックスペン	注	300単位	劇 ハイリスク	ゾルファイ配合注フレックスタッチ採用のため、区分6へ移行(2019年12月10日に区分6へ移行)
1	ハーセプチン	注	60mg	-	トラスツスマブBS点滴静注用60mg「NK」採用のため、削除(2019年12月10日に削除)
1			150mg		トラスツスマブBS点滴静注用150mg「NK」採用のため、削除(2019年12月10日に削除)
1	ヘグイントロン	注	50μg	劇	エンタビオ点滴静注用300mg採用のため、削除(2019年12月10日に削除)
1	ホケリホースODフィルム「QQ」	内服	0.3mg	劇 ハイリスク	カナリア配合錠採用のため、削除(2019年12月10日に削除)
1	モルヒネ塩酸塩「第一三共」	注	50mg	劇 麻 ハイリスク	ナルベイン注20mg採用のため、削除(2019年12月10日に削除)
1	ルーラン	錠	8mg	劇	ロナセンテフ40mg採用のため、区分6へ移行(2019年12月10日に区分6へ移行)

【4】報告事項

1)緊急購入薬の薬剤部長承認について

⑦緊急購入医薬品(合計3品目)

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区 分	薬 価	会社名	成 分 ・ 薬 効 等
7	エブクルーサ配合625	錠	-	-	61,268.5	キリアド・サイエンシズ	※常備医薬品(区分①))にて申請あり
7	サイマリン421	注	50mg	劇 ハイリスク	10,553.0	ニプロESファーマ	※臨時採用医薬品(区分⑤))にて申請あり
7	ゾスハタ429	錠	40mg	劇 ハイリスク	19,768.5	アステラス製薬	Gilteritinib Fumarate 抗悪性腫瘍剤(FLT3阻害剤) ★低分子のチロシンキナーゼ阻害剤であり、FLT3阻害作用を有する新規化合物である ★再発又は難治性のFLT3遺伝子変異陽性のAML患者に使用 ★国際共同第Ⅲ相治験において、再発または難治性のFLT3遺伝子変異陽性急性骨髄性白血病患者に対し、CR/CRhは28.2%であり、良好な治療効果が期待できる 【発売:2018.12.3】

※緊急購入医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)販売中止に伴う代替医薬品の採用について(2019年12月10日に切り替え予定)

現在	切替薬(後発品)
リザルミン静注5000単位/5mL(535円) (後発品)	→ ダルテパリンNa静注5000単位/5mL「サワイ」(535円)
アカルボース錠100mg「ファイザー」(18.3円) (後発品)	→ アカルボース錠100mg「サワイ」(18.3円)
ファモチジンOD錠10mg「ファイザー」(10.1円) (後発品)	→ ファモチジンOD錠10mg「トーワ」(10.1円)
ファモチジンOD錠20mg「ファイザー」(10.1円) (後発品)	→ ファモチジンOD錠20mg「トーワ」(10.1円)
クラリスロマイシンDS10%小児用「マイラン」 (30.2円/g) (後発品)	→ クラリスロマイシンDS10%小児用「サワイ」(30.2円/g)
ジスロマックSR成人用ドライシロップ2g(1990円/本) (先発品)	→ アジスロマイシン錠250mg「トーワ」(81.0円)
ピコスルファートナトリウム錠2.5mg「イセイ」 (5.9円) (後発品)	→ ピコスルファートナトリウム錠2.5mg「日医工」(5.9円)

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:臨時採用医薬品、6:院外専用医薬品、7:緊急購入医薬品)